

第1回 総務部会 会議報告

日 時:令和7年2月25日(火)

18時30分～19時15分

場 所:川岸小学校 1 階 図工室

○次 第

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 3 部会の役割と会議の進め方について
- 4 意見交換
- 5 閉会

○部会で確認した内容

- ・川岸学園設立準備委員会及び専門部会について(資料1)
- ・校名、校章・校旗、校歌の検討、作成、選考、決定について(資料2)
- ・式典開催に向けた方針の検討、準備(資料2)

○部会で出された主な意見

校名の検討

・義務教育学校は年間10校～15校ずつ増えている傾向。初期の学校は「〇〇義務教育学校」と入っている校名が多いが、圧倒的に多いのは「〇〇学園」。中には、こだわりや願いが入っているものもある。

→校名は自由に選べる傾向

・児童、保護者、地域等紙ベースでの投票による選定がよいのではないかと。グーグルフォームなどの投票も考えられるが、やり方が分からない方もいると思う。

・公募については、候補を出すか、白紙から考えてもらうか、検討が必要

・校名の決定は令和7年度中に決める方向。岡谷田中小学校になれば、校名変更に伴う条例改正は令和8年12月議会を予定。

・地域の声を拾いたいという場合であれば、区長宛に校名選定の依頼文書と川岸5区分の応募用紙を送るやり方がある。それぞれの区で各戸配布して集め、その中で候補となる校名を区でいくつか選ぶ。区議会の議題にしてもらうなども考えられる。そうすれば、候補を絞ることができるのではないかと。

・今のところは部会としては公募としていく方向性。

・校名については何年も残るものである。時代負けしないような、いつの時代も色褪せないものにしたい。単純に華やかであったり、今風だけで選ぶわけにはいかない。

・昔からある言葉は、必ず理由があって残っていると思うので、かえって新しい言葉は薄れていってしまうのではないかと。昔からある言葉を使ったほうが長持ちすると思う。

・全国の色々な学校でも、「このような子どもたちを育てたい」という願いがあって校名を決定しているはず。その地域の地名を入れればいいというよりは、地域や市の中で「目指す子ども像」を主体にして、校名を決定したほうが良いのではないか。会議の冒頭で出た全国の校名について、背景まで調べてみて、どのような意図なのかを確認してみると良い。

・認定こども園も併設するスタイルの中で、どのような表現・願いを込めるのが良いかを今後考える。

・「学園」と聞くと、「つつじが丘学園」を連想してしまい、混乱する人もいると思う。新たに赴任される職員などは、つつじが丘学園、川岸学園の分校かと勘違いして職員もいるのではないか。

○次回の部会での検討事項

・校名に含まれる想いや校名の募集要項等について、先進自治体の状況を複数提示して、具体的な選定方法を決定する。

○次回の日程について

・令和7年4月25日(金) 午後6時～
川岸小学校 ふれあい教室 開催予定